

コンパクトキッチン用
ガス三口コンログリル付
天ぷら油過熱防止装置付

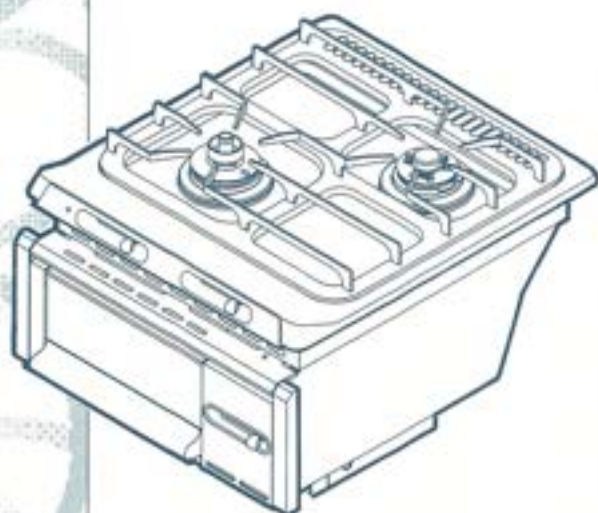
取扱説明書

保証書付

品 名	型 式 名
C-SB202SH-2	C-SB202S
C-SB212SH-2	C-SB212S
C-SB102H	C-SB102

■ご愛用の皆様へ

このたびはガスコンロをお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくお使いください。
この取扱説明書のP18が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。いつも手元に置いてご使用ください。



図はC-SB212SH-2を示します。

も く じ

ページ

安全・注意 特に注意していただきたいこと	
⚠ 危険	1
⚠ 警告	2~4
⚠ 注意	3・4
各部のなまえ	5
準備をしましょう	6
乾電池の取付け方	
正しくセットされていますか	
こんろをお使いになる前に	7~9
天ぷら油過熱防止装置	
立消え安全装置	
こんろを使いましょう	10
グリルをお使いになる前に	11
グリルを使いましょう	12
お知らせランプ	13
日常の点検 = お手入れしましょう =	14
故障かな?と思ったら	15
アフターサービス	16
仕 様	16・17
保証書	18

安全・注意

使
い
か
た

点
検
・
サ
ー
ビ
ス

安全・注意

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

お読みになった後は、いつも手元に置いてご使用ください。

●ここに示した注意事項と絵表示は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取扱いや設置により生じる危害・損害の程度を次の三つに区分しています。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

☆絵表示について次のような意味があります。

 火気厳禁	 一般的な禁止	 起こりうる現象
 必ず行う	 触れるな	 分解禁止

危険

■ ガス漏れに気づいたとき

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。



②窓や戸を開け、ガスを外に出す。



③販売店またはガス事業者へ連絡する。

※近辺の電話は使用しない。



☆ガス漏れの処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、近辺の電話は使用しない。



火や火花で引火し、爆発事故の原因になります。

警告

■使用ガスについて

- 必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）を使用する。



使用ガスを間違えたまま使用すると、火災や不完全燃焼・爆発点火の原因になります。

- わからない場合は、もよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所に連絡してください。

LPG	都市ガス用					
	13A 12A	6A	L1 (8B) (6C) (7C)	5C	L2 (5 A) (5 B) (5 AN)	L3 (4A) (4B) (4C)



ガスを確認する

ガスグループ

この部分を必ずご確認ください。

例) 銘板(ガス)

型式名	
都市ガス用	
13A	ガス消費量
12A	ガス消費量
製造年月日および製造番号	
サンケイ工業株式会社	
品名	品名

銘板



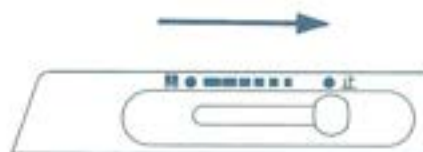
■異常時・緊急時の処置について

- 使用中に異常燃焼・異常音・臭気などを感じたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順で処置する。

- ①器具栓つまみを「止」の位置にする。
- ②ガス栓を閉じる。
- ③もよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所に連絡してください。



「止」の位置にする



ガス栓を閉じる



■火災防止のために

- 火をつけたまま機器から離れない。
- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（カーテン、タオルなど）を近づけない。
- 棚など、落下物の危険のあるものは上部に取りつけない。
- グリル水入れ皿は、脂がたまらないように使用ごとに掃除する。（C-SB212Sのみ）



火災の原因になります。



禁止



掃除する



■火災・不完全燃焼防止のために

- グリルの排気の上にふきんなどをのせたり、ふさいだりしない。（C-SB212Sのみ）
- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれのあるものを使用しない。



火災・不完全燃焼の原因になります。



禁止



■分解禁止

- ビスをはずすような分解・修理・改造は絶対行わない。



分解禁止



ガス漏れや火災の原因になります。

■危険防止のために

- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。



禁止



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発の原因になります。

警告

■設置について

- 設置の際、木製の壁や棚などの可燃物との離隔距離を必ずとる。また、可燃性の壁にステンレス板などを直接貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。



火災の原因になります。

- 可燃性の壁から15cm以上(天井面は1m以上)離して設置することができない場合は、別売の防熱板を取り付ける。

◆別売品 防熱板の種類

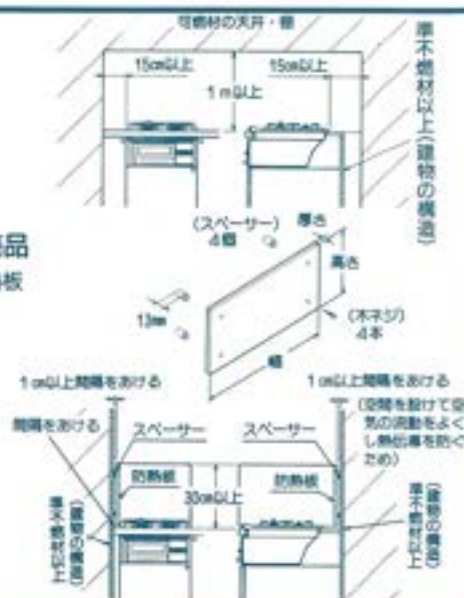
- 防熱板
 - ・FG-550 ……高さ 350mm×幅 550mm×厚さ 4.6mm
 - ・FG-600 ……高さ 350mm×幅 600mm×厚さ 4.6mm



確認

■別売品

- 防熱板



注意

■調理以外の用途に使用しない

- 衣類の乾燥などに使用しない



火災や機器焼損の原因になります。



■炎をふさいだり、こんろをおおわない

- こんろをおおうような鉄板類は使用しない。



一酸化炭素中毒・異常過熱・機器焼損の原因になります。



■使用中は換気を行う

- ご使用と同時に換気扇を回すなどの換気をする。



一酸化炭素中毒の原因になります。



■なべやフライパンなどのとってに注意

- 強火で使用する場合は、なべやフライパンなどのとってに炎があたらないように、火力を調節する。
- グリル使用中は、とってをグリル排気口に向けて使用しない。(C-SB212Sのみ)



とって部が過熱され、破損ややけどの原因になります。



禁止

- こんろ点火操作時や使用中は、バーナー付近に手や顔・衣類などを近づけない
- こんろ周辺は炎で熱くなるので手を触れない



衣類が燃えたり、やけどの原因になります。



禁止

■市販の補助具(アルミはく製する受け皿など)は使用しない

- この機器の付属品、指定のもの以外は使用しない。



異常燃焼・点火不良の原因になります。



禁止



— お願い —

- 本品は家庭用です。業務用として使用した場合は、著しく寿命が縮まります。
- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
- ご使用中に設置工事説明書(別添)を読み、正しく設置されていることを確認してください。
- 長期間使用しない場合は、ガス栓を閉じ、各部の汚れを取り除き、ビニールなどをかけてください。また、乾電池の液漏れによる機器の損傷を防ぐため、乾電池は乾電池ケースよりはずしてください。

警告

■ グリル水入れ皿に必ず水を入れて使う

- 必ず水を200ml(コップ1杯程度)以上入れて使用する。
- 続けて使用するとき、そのつど水を補給する。
- グリル水入れ皿に脂がたまった状態で使用しない。
- 水の表面に脂が多くとまったら水を入れ替える。



脂がたまり発火・火災の原因になります。



必ず水を入れる
水を補給する

■ グリル水入れ皿にアルミはくを敷いたり、市販のグリル石など水以外のものを入れて使用しない



脂がたまり発火・火災の原因になります。



禁止

■ 魚の焼きすぎ・消し忘れに注意する



魚の脂が過熱し発火し、グリル排気口から炎が出ることがあります。

注意

■ グリル水入れ皿だけを直接持って取り出さない



やけどの原因になります。



禁止

■ 魚を裏返す・取り出すとき、グリルとびらとって以外には触れない



グリルの周辺は高温になります。
やけどの原因になります。



触れるな

■ グリル使用中・使用直後はグリルとびらガラスに水をかけない



ガラスが割れてけがややけどの原因になります。



禁止

■ グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えたり、物をぶつけない

- グリルとびらの開閉は静かに行う。



けがや機器損傷の原因になります。



禁止

■ グリルとびらを開けたままグリルを使用しない

- グリル水入れ皿を正しくセットしグリル奥にあたるまで押し込む。



異常過熱によるやけどのおそれや機器の変形・変色の原因になります。



禁止

■ グリルの点火操作を繰り返し行う場合は一度とびらを開けて空気を入れ替える

- グリル内のガスが無くなったのを確認してから再点火操作をする。



たまったガスにより爆発の原因になります。



空気を
入れ替える

■ グリル使用中は、グリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や顔を近づけない



やけどの原因になります。



禁止

■ グリルで樹脂製のものなどの異物を焼かない



発火して火災の原因となったり、ガラスが割れることがあります。

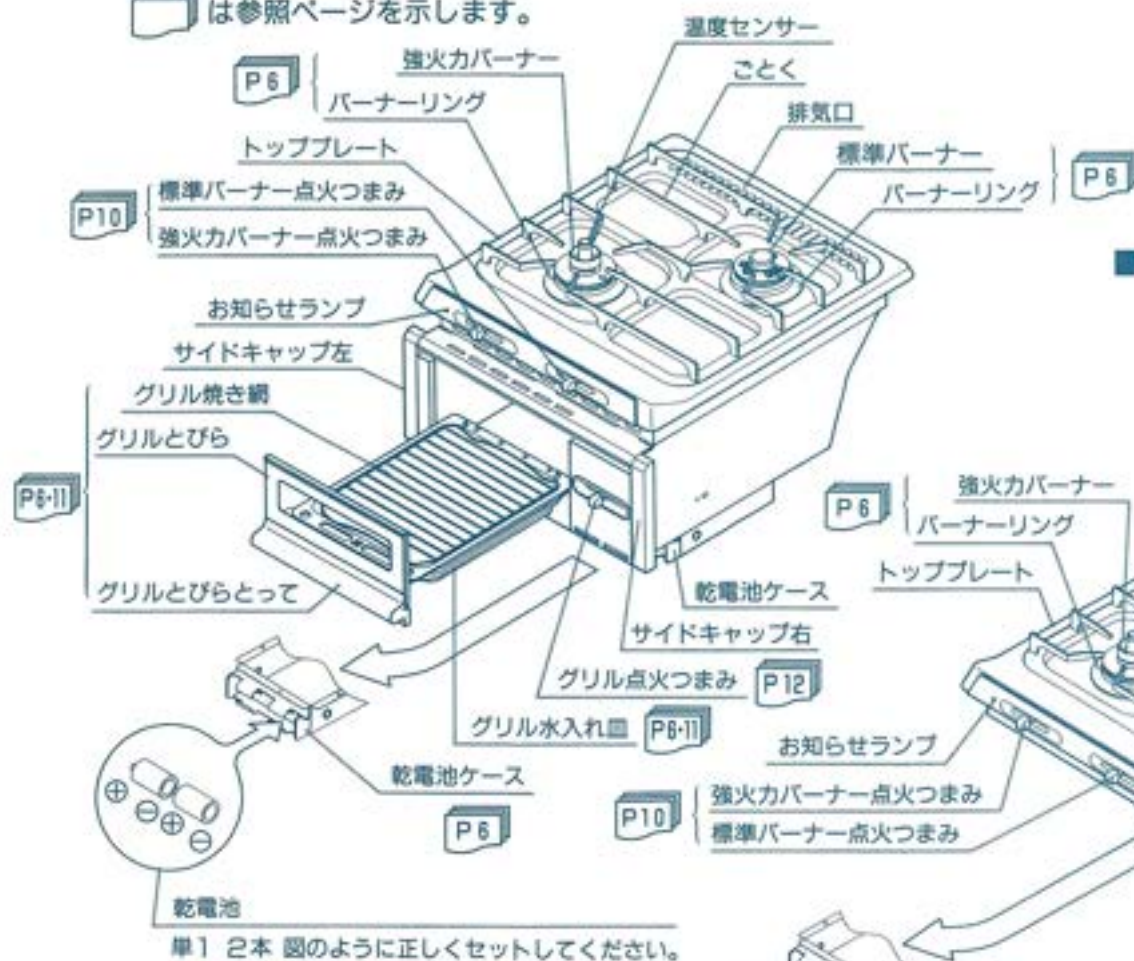


禁止

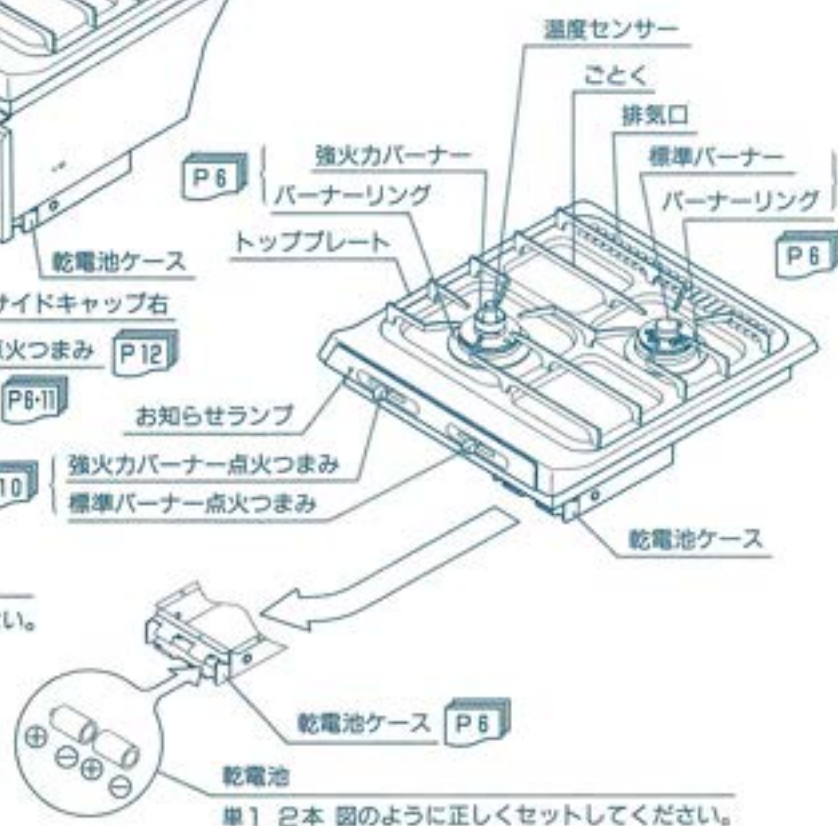
各部のなまえ

■C-SB212SH

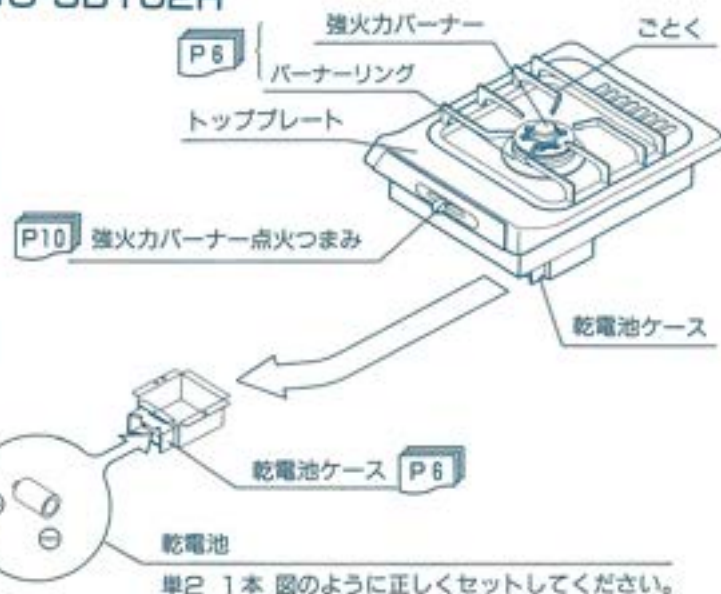
は参照ページを示します。



■C-SB202SH



■C-SB102H



電池交換のしかた

- ガスこんろ下のキャビネット扉を開けてください。
- 本体底板に取り付けてある乾電池ケースに、 $\oplus$ 、 $\ominus$ を図のように正しくセットしてください。
- 乾電池の種類は、2口こんろが単1を2本、1口こんろが単2を1本です。

準備をしましょう

乾電池の取付け方

- ガスこんろ下のキャビネット扉を開け、乾電池（単1・1.5V）1個または2個を図のように正しくはめ込んで、キャビネット扉を元に戻してください。
 - 乾電池の交換は必ず、新品のものと交換してください。C-SB202S、212Sの時は2個同時に交換してください。
- 交換の目安は1年です。（ただし、乾電池の種類や使用頻度によってこととなります）

C-SB102H



C-SB202S、C-SB212S

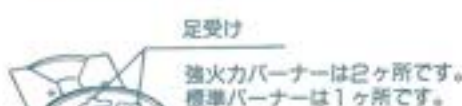


正しくセットされていますか

こんろ部

- ①バーナーヘッドは、足部（2本または1本）を混合管足受け（2ヶ所または1ヶ所）の位置に合わせてセットしてください。

こんろバーナー



（二口こんろの場合）

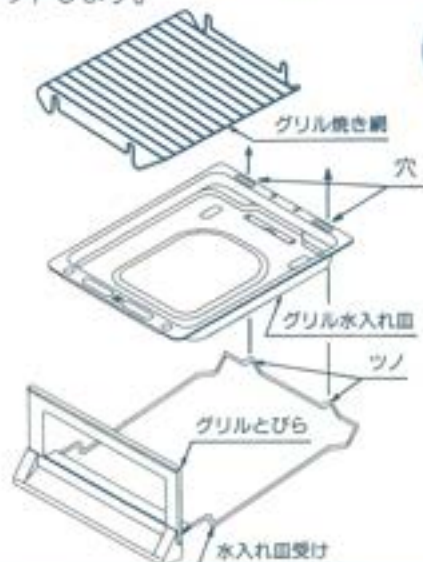


（一口こんろの場合）

- ②バーナーヘッドは矢印を上図のように合わせて正しくセットしてください。

グリル部

- ツノの部分をグリル水入れ皿の穴に入れてセットします。



- バーナーリングが浮いたり、バーナーヘッドを正しく取付けないと、点火しなかったり、炎のふぞろいや逆火を起こして危険です。また、温度センサー付バーナーの場合、バーナーヘッドを正しくセットしないとセンサーが破損するおそれがあります。



バーナーヘッドの傾き



バーナーリングの浮き



バーナーヘッドの裏返し

こんろをお使いになる前に

■天ぷら油過熱防止装置 (C-SB202S, 212S強火力バーナーのみ)

天ぷら油過熱防止装置とは…

天ぷら・フライなどの揚げものの調理用バーナーで、油の温度が高くなりすぎると自動的にガスを止め消火し、ランプでお知らせします。

天ぷら油過熱防止装置付バーナー



図はC-SB212SHを示します。

⚠ 警告

- 揚げものの調理をするときは、必ず強火力バーナーを使用し、調理油の量は200ml以上入れる。



調理油の量が少ないと発火することがあります。



調理油の量
200ml以上
入れる

- 温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。



そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。



禁止

- 強火力バーナー(温度センサー付き)では耐熱ガラス容器・土なべなどの熱の伝わりにくいものでの油調理はしない。



温度センサーが働かず、油が発火することがあります。



油調理禁止

⚠ 注意

- なべの重さは、温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、また片手なべなどは不安定になりやすいので注意してください。



温度センサーが正しく作動せず、調理油が発火することがあります。



なべ底と
温度センサー
の密着を確認
する

- 温度センサーが上下にスムーズに動くことを確認する。



なべなどが傾きお湯などがこぼれ、やけどの原因になります。



上下動を確認
する

- 温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけない。



温度センサーが正しく作動せず、調理油が発火することがあります。



禁止

</

コンロをお使いになる前に

■立消え安全装置

立消え安全装置とは…

風や煮こぼれなどで消火したときは、自動的にガスを止め、ランプでお知らせします。
(完全にガスが止まるまで数秒かかります)

立ち消え安全装置
点火プラグ



⚠ 注意

■ 点火プラグや立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。



まがったり、変形すると点火不良の原因になります。



禁止

■ 点火プラグや立消え安全装置に水滴や煮こぼれなどの汚れは布などでふき取ってください。汚れがこびりついているときは、歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除してください。



汚れたまま使用しつづけると、点火しにくくなったり、消火する場合があります。



汚れが無い
か確認する

立消え安全装置が働いたとき

☆使用中、火が消えたときは

- 安全装置が働いてガスが止まるまで、少し時間がかかります。
- 消火に気がついたときは、すぐに点火つまみを「止」の位置に戻してください。

☆再点火するとき

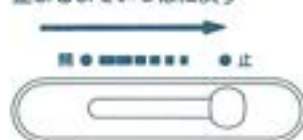
- 周囲に生ガスがなくなるまでしばらく待って、立消え安全装置の汚れをふき取ってから使用してください。

用途に応じてバーナーを使用しましょう

強火力バーナー（天ぷら油過熱防止装置付）	標準バーナー
大量の煮たき調理 強い火力を必要とする調理 揚げ物調理など 	普通の煮たき 

点火前に

止まるまでいっぱに戻す



「止」の位置
にする



開ける

- 点火つまみが「止」の位置にあるか確認し、ガス栓を全開にします。

こんろを使いましょう

①点 火

- 点火は、器具栓つまみを左方向にスライドさせ「開」の位置まで十分押ししますと「パチパチ」とスパークの音がしてバーナーへ点火します。
 - 点火後3～5秒間器具栓つまみを押ししたまま点火の状態をつづけてください。
(立消え安全装置を正常に作動させるためです。)
 - 十分に押さないで点火した場合、手を離すと消火することもあります。
 - はじめて点火するときや、幾日かご使用にならないときは配管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで器具栓つまみを押しつづけてください。
 - 点火時や弱火にしたとき、標準バーナーの中央炎口部の火が消えることがあります。異常ではありません。
- 注) 器具栓つまみを押しバーナーに点火させて3～5秒後に手を離すと点火の「パチパチ」と言うスパーク音が停止します。



⚠ 注意

- 万一、点火しないときは点火つまみを「止」の位置まで戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする。



たまったガスに点火し、やけどの原因になります。

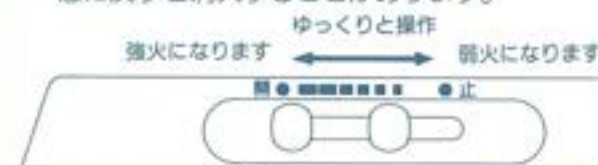
- すべてのこんろとグリル (C-SB212Sのみ) が同時に放電します。



全ヶ所放電する構造になっています。異常ではありません。

②火力調節

- 火力調節は「強火」から「トロ火」まで無段階で調節できます。
- 「強火」(全開)から「止」の方向にゆっくり戻していくと軽く止まる所があります。この位置が「トロ火」の最小となります。
- 「強火」から「トロ火」に戻すときはゆっくり戻してください。
急に戻すと消火することがあります。



⚠ 注意

- やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。



火力が強いとやかん、なべなどのとってが焼損したり、手に触れるとやけどの原因になります。

③消 火

- 消火は、器具栓つまみを「止」の方向に止まるまでいっばいに戻します。
- 必ず火が消えたことを確かめください。



＝お願い＝

- 小さいお子様のいたすらによる火災防止や、ガス漏れ防止のため、こんろから離れるときは念のためお部屋のガス栓を開けてください。
- 使用時の点火、使用後の消火の他、使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

■ 炎の形や色は？

炎が異常に大きかったり、変な音をたてていませんか？
炎が赤かったり、ふそろいで音をたてたりするときは、バーナーヘッドやバーナーリングが正しくセットされていないことが考えられます。
お手入れ後などは正しくセットするように気をつけましょう。



炎を確認する

グリルをお使いになる前に (C-SB212Sのみ)

から焼きをしましょう

- グリルをはじめてお使いになる場合は必ず15分くらい、から焼きをしてください。部品に付着した油を焼き切るため行います。また、このとき煙が出ますが異常ではありません。

(から焼きのときも必ず水を200ml(コップ1杯程度)以上入れてから使用してください)

⚠ 注意

- から焼きをするときはグリル庫内に異物がないことを確認してから行ってください。



確認する

グリル焼き網を上手に使いましょう

■ 焼き網 (表)



■ 焼き網 (裏)



- グリル焼き網は表・裏で足の高さが変わります。焼き物の種類・大きさにより、高低を選んで使いましょう。

ここがポイント

- グリル焼き網にサラダ油を塗ったり、予熱してから材料をのせると、焼き上がり後、取りやすくなります。
- あらかじめ1分ほど予熱しておくと、きれいに焼けます。
- 予熱を必要としないもの、つけ焼き・照り焼きなど、こげつきやすいものや、火のとりの悪い身の厚い魚などは、予熱せずにそのまま焼いてください。

グリルの出し入れ

引き出すとき

- グリルとびらをとまるまでいっばいに引き出すと、グリルとびらだけが下がり、焼き物の出し入れ・反転・確認が簡単に行えます。



取り出したり持ち運ぶとき



- グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらが止まるまでいっばいに引き出してから、そのまま持ち上げて取り出します。

グリルを使いましょう (C-SB212Sのみ)

グリルは必ずグリル水入れ皿に水を200 ml (コップ1杯程度) 以上入れて使用してください。

①点 火

いっばいに強く押す



「パチパチ」と音がしてバーナーに点火します。

- 点火は、器具栓つまみを左方向にスライドさせ「開」の位置まで十分押しますと「パチパチ」とスパークの音がして、バーナーへ点火します。
 - 点火後3～5秒間操作つまみを押したまま点火の状態をつづけてください。(立消え安全装置を正常に作動をさせるためです。)
 - 十分に押さないで点火した場合、手を離すと消火することもあります。
- 注) 器具栓つまみを押しバーナーに点火させて3～5秒後に手を離すと点火の「パチパチ」と言うスパーク音が停止します。

⚠ 注意

- 万一、点火しないときは点火つまみを「止」の位置まで戻し、グリル内のガスがなくなってから再度点火操作をする。



たまったガスに点火し、やけどの原因になります。

- すべてのこんろとグリルが同時に放電します。



全ヶ所放電する構造になっています。異常ではありません。

②火力調節

いっばいに強く押す



- 火力は全開 “「開」の位置” で使用してください。
- 焼き具合は、グリル焼網の高低や焼時間などで調節します。

③消 火

止まるまでいっばに開す



- 点火つまみを「止」の位置に戻します。
- 必ず火が消えたことを確認してください。

—お願い—

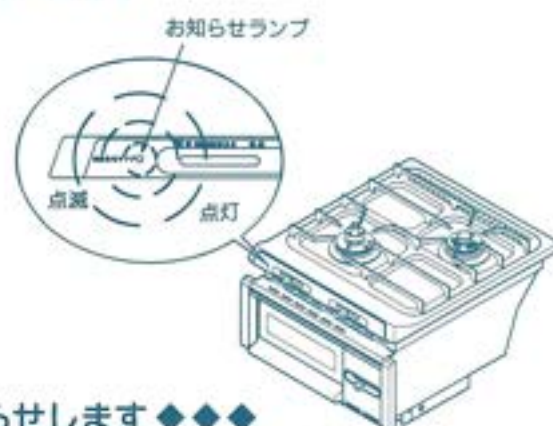
- 小さいお子様のいたずらによる火災防止や、ガス漏れ防止のため、こんろから離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉じてください。

お知らせランプ

■温度センサー付こんろにはお知らせランプがついています。

お知らせランプとは…

- ① 乾電池の交換時期
 - ② 調理油の過熱警告・温度センサーの故障の警告
 - ③ 立消えの警告
- をランプの点灯・点滅でお知らせします。



◆◆◆お知らせランプの点滅のしかたで状況をお知らせします◆◆◆

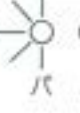
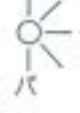
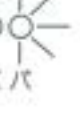
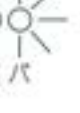
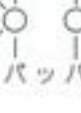
① 乾電池の交換時期

原因	お知らせランプの表示	対応	参照ページ
乾電池消耗	ランプ     ……(点滅を繰り返します。) 点滅	乾電池が消耗してきました。 新しい乾電池(単1・2個) をご用意ください。	P6
乾電池交換	ランプ  ……(点灯し続けます。) 点灯	乾電池の交換が必要です。 新しい乾電池(単1・2個) と交換してください。	P6

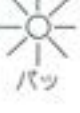
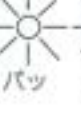
※点灯になると使用できなくなります。必ず、2個同時に新品の乾電池と交換してください。

※乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池が著しく消耗しているときは、お知らせランプは点灯しません。
この場合、ただちに乾電池を新品のものに交換してください。

② 天ぷら油の過熱警告・温度センサーの故障

原因	お知らせランプの表示	対応	参照ページ
温度センサー の過熱警告 (270℃検知)	ランプ    ……(3回の点滅を繰り返します。) 3回点滅	温度センサーが270℃を 検知しました。 ただちに点火つまみを「止」 の位置にもどしてください。	P7-8
温度センサー の過熱警告 (290℃検知)	ランプ    ……(4回の点滅を繰り返します。) 4回点滅	温度センサーが290℃を 検知しました。 ただちに点火つまみを「止」 の位置にもどしてください。	P7-8
温度センサー の故障 (断線検知)	ランプ    ……(3回の点滅を繰り返します。) 3(1・2)回点滅	温度センサーが故障してい ます。ただちに点火つまみ を「止」の位置にもどし、も よりのサービスセンターも しくは販売店が営業所に運 絡してください。	P7-8

③ 立消えの警告

原因	お知らせランプの表示	対応	参照ページ
こんろの火が 立消え	ランプ    ……(2回の点滅を繰り返します。) 2回点滅	立消えました。ただちに点 火つまみを「止」の位置にも どし、しばらくしてから再 点火してください。	P9

日常の点検 = お手入れしましょう =

点検・お手入れの前に

- 日常の点検・お手入れは、ガス栓を閉じ、機器が十分に冷えてから行ってください。
また、けがのないように手袋などをして行ってください。
(グリル内、グリル排気口カバーまわりは特に注意してください。)



日常の点検

■ 機器本体のお手入れ

- 乾いた布でよくふきます。汚れのひどいときは、中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で水気を十分ふき取ります。



禁止

- クレンザーや金属たわしなどの硬いものは使用しない。



表面に傷がつく原因になります。

- 台所用中性洗剤以外の洗剤(アルカリ性洗剤)を使用しない。

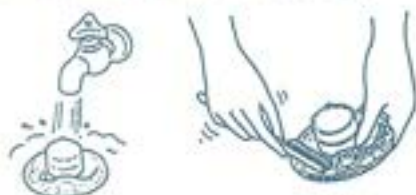


塗装の変色・はがれの原因になります。

- 本体内部や混合栓の中に水が入らないようにしてください。

■ バーナーヘッドのお手入れ

- ガスを効率よくお使いいただくために、バーナーヘッドはこまめにお手入れしましょう。



- バーナーヘッドの溝が煮こぼれなどで目詰まりしたり、汚れがひどい場合は、バーナーヘッドを取りはずして水洗いまたはブラシ・先端のとがったもの(竹串・つまようじなど)できれいに掃除してください。



炎がふぞろいになったり、不完全燃焼・点火不良の原因になります。



確認

水洗いしたら、水をよくふき取ってから取付け、正常に燃焼するか確認してください。

■ グリルとびら・グリルとびらガラスのお手入れ (C-SB212Sのみ)

- そのつど、汚れをふき取ります。汚れがひどいときは中性洗剤で洗い、乾いた布で水気を十分ふき取ります。



禁止

- クレンザーや金属たわしなどの硬いものは使用しない。



表面に傷がつき、ガラスが割れてけがややけどの原因になります。

■ グリル水入れ皿・グリル焼き網のお手入れ (C-SB212Sのみ)

- そのつど、中性洗剤をスポンジなどのやわらかいものにふくませて洗います。
- 水洗いし、乾いた布で水気を十分ふき取ります。



禁止

- グリル水入れ皿に脂がたまった状態で使用しない。



たまった脂に引火し、機器損傷・火災の原因になります。

■ 温度センサーのお手入れ (C-SB202S, C-SB212Sのみ)

- 温度センサーに煮汁やゴミが付着したときは、布を水に浸し固くしぼってからふき取ります。



確認

- 温度センサーのお手入れはこまめに行う。また、上下にスムーズに動くことを確認する。



温度センサーが正常に作動しない場合があります。

■ 点火プラグ・立消え安全装置のお手入れ

- 点火プラグや立消え安全装置に水滴や煮こぼれなどが付いている場合は布などでふき取ります。



確認



汚れたまま使用しつづけると、点火しにくくなったり、消火する場合があります。

■ お手入れ後は正しくセットしてください。

P 6

故障かな?と思ったら

7 修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現 象	原 因	処 置 方 法	参照 ページ
点火しない	ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P 9
	しる受け皿、バーナーヘッドの誤セット	正しくセットしてください。	P 6
	乾電池の入れ忘れ・誤セット	正しくセットしてください。	P 6
	温度センサー付バーナー	温度センサーが高温になっている	P7・8・13
点火しにくい	温度センサーの不良	点検・修理を依頼してください。	P13
	ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。	P 9
	配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 ※はじめての場合は点火するまでしばらく時間がかかります。	P 9
	バーナーヘッドの取付不良	正しくセットしてください。	P 6
点火後しばらくして消火する (温度センサー付バーナー)	バーナーヘッドの溝(炎口)つまり	清掃してください。	P14
	乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。	P6・13
	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。	P7・8・13
	温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。	P13
異常音をたてて燃える	バーナーヘッドの誤セット	正しくセットしてください。	P 6
爆発的に点火する			
炎が安定しない			
使用中消火しやすい	立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を清掃してください。	P9・13・14
黄炎で燃える	バーナーヘッドの溝つまり	バーナーヘッドを清掃してください。	P14
調理中に消火する	使用なべの形状、材質が適していない	温度センサーに適したなべを使用してください。	P7・8

2 こんな場合は故障ではありません。

こんなときには

- はじめてグリルを使ったとき煙が出た



- 庫内には加工油を使っています。グリルをはじめてお使いになると、その加工油が焼けて煙が出ます。はじめてグリルをお使いのときは、庫内の油を焼ききるために水を入れて約15分くらい空焼きをしてください。



こんなときには

- 点火後や消火後に音が出る



- 加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。
- こんろバーナーは、消火時にボンという音が出ますが、これは火が消えたときの音で故障ではありません。

3 異常のあるときやおわかりにならないとき



分解禁止

もよりのサービスセンターもしくは販売店が営業所に連絡してください。
決してご自分で修理しないでください。
事故のもとになります。

アフターサービス

修理について

万一故障した場合、もよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所までご連絡ください。

- 依頼される前にもう一度ご確認ください。P15の「故障かな?と思ったら」の項をご確認いただき、なお不具合がある場合は、必ずガス栓および点火つまみを閉じて、使用しないでください。

保証について

- 取扱説明書のP18が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
機器の販売後、機器の故障がある場合、一定条件以外は無償修理になります。
(詳細は保証書の「無償修理規程」をご覧ください。)
- 保証書を紛失されますと無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

サービス部品について

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能維持をするために必要な部品です。
無料修理期間経過後の修理についてはもよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所までご連絡ください。
修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。

廃棄処分について

- 当商品を廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか破砕の上許可された処理場にて処理してください。

転居または機器を移設される場合

- (どんな場合でももよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所に必ずご相談ください)
- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合、ガスには都市ガス13種類及びLPガスがあります。
ガスの種類が違う地域へ転居される場合には、部品交換や調整が必要となります。そのままお使いになりますと正常な働きをしないばかりでなく故障、不完全燃焼、火災などの原因にもなりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、もよりのサービスセンターもしくは販売店か営業所にご相談ください。この場合、調整・改造にともなう費用は保証期間内でありましても有料となります。

ご連絡していただきたい内容

1. 品名、型式名または形式の呼び、ガスの種類、お買い上げ日
2. 故障内容、状況(できるだけ詳しく)
3. ご住所・お名前・電話番号・道順
4. 訪問ご希望日

連絡先

- 当社サービスセンターは裏表紙に記載しています。また、支店・営業所は別紙の当社事業所一覧表をご覧ください。

仕様

品名	C-SB102H
種類	ガス一口コンロ
点火方式	連続放電式ダイレクト点火
外形寸法 (mm)	高さ 14.3×幅 30×奥行 36
質量 (本体)	3.7kg
ガス接続口	Rc 1/2 (15A) 配管は金属可とう管または銅管
安全装置	立消え安全装置
使用ガス (使用ガスグループ)	1 時間当たりのガス消費量
L P ガス	全ガス消費量 (全点火時)
	3.50kW (0.250kg/h)
都市ガス用	4.10kW (3,530kcal/h)
13A	3.80kW (3,270kcal/h)
12A	3.40kW (2,920kcal/h)
6A	3.50kW (3,010kcal/h)
L1 (6B, 6C, 7C)	3.50kW (3,010kcal/h)
5C	3.10kW (2,670kcal/h)
L2 (5A, 5AN, 5B)	3.10kW (2,670kcal/h)
L3 (4A, 4B, 4C)	3.10kW (2,670kcal/h)

仕 様

品 名	C-SB202SH-2			
種 類	ガス二口コンロ			
点 火 方 式	連続放電式ダイレクト点火			
外 形 寸 法 (mm)	高さ 14.7×幅 45×奥行 50			
質 量 (本体)	7.2kg			
ガ ス 接 続 口	Rc 1/2(15A) 配管は金属可とう管または銅管			
安 全 装 置	立消え安全装置、天ぷら油過熱防止装置			
使 用 ガ ス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量			
	バーナー個々のガス消費量		全ガス消費量 (全点火時)	
	強火力バーナー	標準バーナー		
L P ガ ス	3.50kW (0.250kg/h)	2.55kW (0.182kg/h)	5.70kW (0.407kg/h)	
都 市 ガ ス 用	13A	4.10kW (3.530kcal/h)	2.55kW (2.190kcal/h)	6.50kW (5.600kcal/h)
	12A	3.80kW (3.270kcal/h)	2.40kW (2.060kcal/h)	6.10kW (5.250kcal/h)
	6A	3.40kW (2.920kcal/h)	2.30kW (1.980kcal/h)	5.50kW (4.730kcal/h)
	L1(6B,6C,7C)	3.50kW (3.010kcal/h)	2.50kW (2.150kcal/h)	5.80kW (4.990kcal/h)
	5C	3.50kW (3.010kcal/h)	2.35kW (2.020kcal/h)	5.70kW (4.900kcal/h)
	L2(5A,5AN,5B)	3.10kW (2.670kcal/h)	1.95kW (1.680kcal/h)	4.90kW (4.210kcal/h)
	L3(4A,4B,4C)	3.10kW (2.670kcal/h)	1.85kW (1.590kcal/h)	4.65kW (4.000kcal/h)

品 名	C-SB212SH-2				
種 類	ガス二口コンログリル付				
点 火 方 式	連続放電式ダイレクト点火				
外 形 寸 法 (mm)	高さ 31.7×幅 45×奥行 54.2				
質 量 (本体)	13.5kg				
ガ ス 接 続 口	Rc 1/2(15A) 配管は金属可とう管または銅管				
安 全 装 置	立消え安全装置、天ぷら油過熱防止装置				
使 用 ガ ス (使用ガスグループ)	1 時間当たりのガス消費量				
	バーナー個々のガス消費量			全ガス消費量 (全点火時)	
	強火力バーナー	標準バーナー	グリルバーナー		
L P ガ ス	3.50kW (0.250kg/h)	2.55kW (0.182kg/h)	2.10kW (0.150kg/h)	7.55kW (0.539kg/h)	
都 市 ガ ス 用	13A	4.10kW (3.530kcal/h)	2.55kW (2.190kcal/h)	2.40kW (2.060kcal/h)	8.40kW (7.220kcal/h)
	12A	3.80kW (3.270kcal/h)	2.40kW (2.060kcal/h)	2.30kW (1.980kcal/h)	8.00kW (6.880kcal/h)
	6A	3.40kW (2.920kcal/h)	2.30kW (1.980kcal/h)	2.20kW (1.890kcal/h)	7.50kW (6.450kcal/h)
	L1 (6B,6C,7C)	3.50kW (3.010kcal/h)	2.50kW (2.150kcal/h)	2.20kW (1.890kcal/h)	7.70kW (6.620kcal/h)
	5C	3.50kW (3.010kcal/h)	2.35kW (2.020kcal/h)	2.40kW (2.060kcal/h)	7.70kW (6.620kcal/h)
	L2 (5A,5AN,5B)	3.10kW (2.670kcal/h)	1.95kW (1.680kcal/h)	2.20kW (1.890kcal/h)	6.70kW (5.760kcal/h)
	L3 (4A,4B,4C)	3.10kW (2.670kcal/h)	1.85kW (1.590kcal/h)	2.20kW (1.890kcal/h)	6.70kW (5.760kcal/h)

ガス機器無料修理保証書

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が生じた場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの当社サービスセンターもしくは営業所に修理をご依頼ください。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理依頼できない場合は、もよりの当社サービスセンターもしくは営業所にご相談ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書についての規定は、下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して、無料修理を受ける場合はお買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、および損傷。
 - お買い上げ後の取付け場所の移動、落下等による故障、および損傷。
 - 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変や公害、異常電圧による故障、および損傷。
 - 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用車輦、船舶への搭載）に使用された場合の故障、および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
- 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障、および損傷。
 - ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書の裏面をご覧くださいのうえ、もよりのサービスセンターもしくは営業所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
住所			
電話番号			
修理メモ			

お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、お買い上げ日、販売店名、取扱者が記入してあることをご確認ください。

サンウエーブ工業株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-2-1（小田急サザンタワー）
☎ 03（5371）4311（大代表）



■商品についてのお問い合わせ…

お近くのショールームまたは下記
“お客さまダイヤル”までお願いいたします。
お客さまダイヤル ☎ 0120-190521

●ご相談受付時間

AM 9:00～12:00 / PM 1:00～5:00
(定休日 / 土・日・祭日)

■アフターサービスのお問い合わせ…

お近くのサービスセンターまでお願いします。

札幌サービスセンター ☎ 011-856-6619
東北サービスセンター ☎ 0120-432-189
東京サービスセンター ☎ 0570-000258
名古屋サービスセンター ☎ 052-261-4105
大阪サービスセンター ☎ 06-6251-7231
中国サービスセンター ☎ 082-245-2195
九州サービスセンター ☎ 092-472-3057

※上記の内容は、予告なく変更することがあります。



生活ごちを、カタチにします。

sunwave

サンウエーブ工業株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-2-1 (小田急サザンタワー)
☎ 03 (5371) 4311 (大代表)